

星稜サ・エ・ラ

稲置学園 INAOKIGAKUEN NEWS LETTER

SEIRYO ÇÀ ET LÀ

No.2

2006

CONTENTS

スペシャルトーク

金沢星稜大学稲友会会長

大友佐俊

Close-Up People

**2006年度 大学・短大
新任教員座談会**

星稜アレコレ

金沢星稜大学

星稜女子短期大学

星稜中学・高等学校

星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園

星稜Information



学校法人 稲置学園

Special Talk

「大友楼」は加賀藩前田家の料理方をつとめた老舗料亭。大友氏は加賀料理や食の歴史に造詣が深く、そのさまざまな活動を通して、20年来、食の大切さの啓蒙に努めている。



大友 佐俊

〔金沢星稜大学稲友会会長〕

食文化からの提言

おおとも・さとし／「大友楼」代表取締役。
1947年金沢生まれ。日本大学卒業後、京都「菊水」などで修業を積む。現在、北陸農政局食生活指針協議会委員、石川県フードシステム環境推進検討会委員、金沢老舗百年会常任理事副会長など。著書に「弁当箱その用と美」ほか雑誌等に執筆多数。

食べ物が大切であることは周知のことでしょう。古来、食糧が均衡を欠くと、国土の奪い合いが起きていました。現在、日本の食糧供給は満ち足りていますが、この状況がいつまでも続くとは限りません。いまこそ、食の重要性を自分自身に関わる問題として認識する時に来ているのです。

現在の食生活は、長い歴史の上に成り立っています。食に対する意識を高めるには、まず、政治経済の変遷や民族的な精神風土と深く関わってきた食の歴史を知るべきでしょう。

権力の象徴、
神饌としての米

日本の食べ物のオリジナルは海外にあります。主食の米も然りです。

米は長粒米、短粒米に大別されますが、大陸から伝来したさまざまな米のなかで食味の優れたもの、栽培が日本の気候に適したものが残りました。それは揚子江の中流付近、福建省あたりで栽培されていた米と推定されています。

奈良時代以前、日本人は米に粟、黍などの雑穀を混ぜて食べていました。奈良・平安時代、白米は貴族のもので、主食として庶民が口にできるようになったのは、経済の発達をみた室町以降のことです。

長らく米は権力の象徴でした。縄文後期より稲作が始まり、米の収穫は富

「大友楼」は加賀藩前田家の料理方をつとめた老舗料亭。大友氏は加賀料理や食の歴史に造詣が深く、そのさまざまな活動を通して、20年来、食の大切さの啓蒙に努めている。

大友 佐俊

〔金沢星稜大学稲友会会長〕

食文化からの提言



おおも・さとし／「大友楼」代表取締役。
1947年金沢生まれ。日本大学卒業後、京都「菊水」などで修業を積む。現在、北陸農政局食生活指針協議会委員、石川県フードシステム環境推進検討会委員、金沢老舗百年会常任理事副会長など。著書に「弁当箱その用と美」ほか雑誌等に執筆多数。

食べ物が大切であることは周知のことでしょう。古来、食糧が均衡を欠くと、国土の奪い合いが起きていました。現在、日本の食糧供給は満ち足りていますが、この状況がいつまでも続くとは限りません。いまこそ、食の重要性を自分自身に関わる問題として認識する時に来ているのです。

現在の食生活は、長い歴史の上に成り立っています。食に対する意識を高めるには、まず、政治経済の変遷や民族的な精神風土と深く関わってきた食の歴史を知るべきでしょう。

権力の象徴、神饌としての米

日本の食べ物のオリジナルは海外にあります。主食の米も然りです。

米は長粒米、短粒米に大別されますが、大陸から伝来したさまざまな米のなかで食味の優れたもの、栽培が日本の気候に適したものが残りました。それは揚子江の中流付近、福建省あたりで栽培されていた米と推定されています。奈良時代以前、日本人は米に粟、黍などの雑穀を混ぜて食べていました。奈良・平安時代、白米は貴族のもので、主食として庶民が口にできるようになったのは、経済の発達をみた室町以降のことです。

長らく米は権力の象徴でした。縄文後期より稲作が始まり、米の収穫は富



大友楼
金沢市尾山町2-27
☎ (076) 221-0305

の蓄積となり、支配力を生みました。支配者は税源として民から米を搾取し、財政を賄ってきたのです。

為政者は、神事を執り行う祭司でもありました。古来、日本の民族には、自然の法則は神の恵みとする精神が根づいています。収穫を神の恩恵とし、神を敬い崇めるという行為は、民を固うための政治上有意義な施策の一つだったのでしょう。

そうした神事の中でも米が使われています。古代米の一つ、赤米は神への供物でした。これが赤飯のルーツです。慣わしの中で大切にされていた食を赤飯として受け継ぐ、そこには食を尊ぶ精神が息づいています。

大盤振舞のルーツは貴族の宴に

米以外の食の変遷はどうでしょうか。奈良時代から鎌倉時代中期、庶民の間では、熱を通した野菜などに塩などを付けて食べるのが主流でした。また、干した鰯を煮出した「いろり」を野菜にかける、この食べ方は現在の「おひたし」につながり、新鮮な魚介類を細かく切って酢に漬けて食べる「膳」が「なます」の元となりました。現代のような調理の基本が整ったのは室町以降のことで、だし汁に調味料を入れて煮て味付けをする料理方法「調菜」の技術が発達していきます。

調理法と同様、食事のスタイルも慣習や儀式とともに変わってきました。

奈良・平安時代、貴族は儀式や饗応に際し、飯盛やおかずを並べた大盤に向かつて座り、宴を行っていました。これが現在の「大盤振舞」の語源です。一つの膳に一人前の料理を載せ、間を計らって運ぶという宴席の形式は安土桃山時代以降に登場します。



大陸の料理を取り入れ独自の文化へと

日本の食べ物の発祥が大陸にあるのと同じく、日本料理も大陸伝来の料理を取り入れ、現在のかたちへ淘汰してきました。

奈良時代、仏教とともに伝えられた

のが精進料理です。なまぐさ物の禁止が發布され、貴族はこれに従いました。が、庶民の間ではほとんど守られなかったようです。真の精進料理は鎌倉時代、厳格な禅宗思想によって確立されます。安土桃山時代に生まれた茶懷石は、貴族と神との供応の膳の出し方を基本としています。また、懷石とは、禅僧が空腹を癒すために温石をふところに入れていたことを指しており、茶懷石は、禅の心を、枯淡を求める茶の精神に重ねたものといえるでしょう。

食を尊ぶ精神、昔の食習慣をいま一度

現代は飽食の時代といわれています。ファーストフード、コンビニ弁当といった類が回り、食生活は怠惰に陥っているように思えます。

こうした時代背景に対して唱えられるようになったのが食育です。食育は食べ物の大切さを知り、健全な心身を養うため、正しい食習慣を促す啓蒙です。言い換えれば、日本元来の食のスタイルに立ち返ろうという呼びかけです。

日本元来の料理は、食材の取合せ、調理法、料理の組合せにいたるまで、その繊細さは、世界でも他に類をみません。食材を無駄にすることがなく、人間の身体を健やかにする料理です。日本には五節句という行事がありま

す。もとは中国から伝わった暦法で、節とは季節の変わり目のことです。奈良時代、一年を24の節に分けていたものを、江戸時代に入ってから5つの節句が定められました。

節句は、季節の植物から生命力を授かり、邪気をはらい息災を願うものです。五節句も、食によって健康を思いやり、食べ物を尊ぶという精神に基づくものなのです。

グローバルな食糧事情に目を向けるべき時機

現在、日本の食糧自給率は約40%。しっかりとした経済基盤が、日本の食糧事情を支えています。

先進諸国は飽食にあり、その対岸には途上国の飢餓があります。そうした国々の多くは政治が乱れ、人々は平穏とはほど遠い生活をしています。

経済の安定こそが食を保障し、平和を保つのです。経済にはそれほどの力があることを、経済を学ぶ学生諸君は心に留めておいていただきたいと思えます。

途上国の人口増加によって、近い将来、世界は深刻な食糧不足に陥るであろうといわれています。

いままさに、私たち一人ひとりが食の大切さを認識し、グローバルな視野から食糧事情を真剣に考えるべき時に立っているのです。

2006年度 大学・短大新任教員座談会 星稜に、 新しい風、来たる。

この春、金沢星稜大学は高、村井、堂下、星稜女子短期大学は田島、以上4名の先生方をお迎えしました。就任されたばかりの新しい感性に、星稜はどのように映じたのか、また、静かな表情のなかに秘められた熱い思いを語っていただきました。





高 賢一助教授 たか・けんいち／輪島市出身。金沢大学法文学部経済学専攻科ならびに上越教育大学大学院修士課程修了。社会教育主事、学校心理士の資格取得。石川県内中学校・高等学校教諭、県教育センター教育相談課指導主事、やすらぎ金沢教室主任などを務める。専門は教育心理学、学校教育相談。

―県外から就任された堂下先生、田島先生、金沢にどんなイメージをお持ちでしたか。また実際の「金沢」は？

堂下 金沢へは夏に一度、訪れたことがあり、たいへん暑かったという記憶が強く残っていました。赴任後、市内の中心部を案内していただき、おおむね地理はつかめました。観光面で見れば、文化と周辺の温泉が大きな資源のようですね。といっても、金沢に住んでひと月ほどで、ここが社会的文化的にどのようなかは、これから学んでいかなければと思っています。

田島 金沢についてよく耳にすることは、食べ物がいおいしいところだと。また、私は以前、能を見に行っていたことがあるのですが、金沢はそうした伝統的なものが盛んだとも聞いています。

私はスポーツ畑の出身で、自身が野球やソフトボールをやってきたこともありまして、金沢の星稜といえば野球というイメージが強いですね。

実学志向、指導の充実はまさに予想以上

―星稜をどのような学校とお考えでしたか。また実際に就任され、皆さんの目には、どのように映ったでしょうか？

高 星稜大学になる前は経済大学でしたので、そのイメージが強いんですね。実学を重視した教育をされ、社会的に即戦力をそなえた人材を育成している。実際にこちらへ赴任して、イメージ通りだと思いました。1年次からゼミナール制を採り、たいへんきめ細やかな指導をされていることに改めて驚きました。

村井 私もこちらへ来る前の、星稜についてのイメージは、高先生と同じです。単科大学として専門分野をしっかりと学ばせる、凝縮された堅実な教育を行っているというイメージです。大学に来て見聞きするうちに、経済学だけではなく経営学にも力点を置いていることがわかりました。また、先生方はもちろん、事務局がアットホームで、なおかつ、



村井 万寿夫助教授 むらい・ますお／旧羽咋郡富来町（現志賀町）出身。明星大学人文学部経済学科卒、同大学大学院人文学研究科修了。金沢市内小学校教諭、石川県教育センター情報教育課指導主事、金沢市立新神田小学校教頭、金沢大学教育学部非常勤講師を務める。専門は教育工学、教育方法学、情報教育。

しっかりと学生をサポートしている。それは、いい意味でこじんまりとした大学の良さ。まさに「オンリーワンの大学」だと思います。

堂下 正直申しまして、星稜に対するイメージはとくにありませんでしたが、こちらに来て、大学は学生に細やかなサービスを提供していくことが、これからの生き残りの道であって、星稜がそれを実践しているのを感じます。大学教育として新たな方向、進むべき方向に向かっていく現場に居合わせる事ができて幸運です。

田島 私は今まで1学年だけで1万人という大人数の大学で育ったものから、星稜短大に来て、すべてにおいて違うんだ、たいへん新鮮な思いを抱いています。また、実学志向

が強く、学生に経験を積ませようという教育体制には、やりがいと楽しさを感じています。

本学の精神に則り 誠実な姿勢を貫きたい

―教える者としての信条をお聞かせください。また、学生に期待することは？

村井 誠実に授業を行うこと、これがモットーです。ですから、学生にも誠実に授業を受けていただきたい。着任前、本学園の建学の精神、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を知り、いい言葉だなと。これを学生に受け売りするのではなく、自らが誠実に取り組み、学生もまたそうであるように指導したいと思っています。

高 私は中学校に7年、高校に21年お

りましたので、とくにこの大学では研究も大切ですが、教育を重視したいという思いがあります。中学高校の現場で培った感性を発揮し、自分のオリジナリティを出しながら学生とともに学びたいと。学生に対しては、自分自身のことや自分の夢について、自信を持って語れる、そういう人になってほしいと思いますね。

田島 将来、スポーツを職にする人もそうでない人も、スポーツを通して感じ、考え、コミュニケーションができる、そのような題材としてスポーツを使うことができるよう指導したいと思っています。また、学生には、自分で問題を発見し、解決する力を身につけてほしいし、それを手助けしていきたいと思っています。

堂下 私は在学中、自らの研究で世界を変えるんだ、それくらい強い意志で研究すべきだという指導を受けてきました。一方で教育者としてはほぼ真っ白な状態なので試行錯誤していますが、つねに前向きでありたい。学生には助けられているな、と感謝することもあります。まあ、何度注意しても、という場合もありますが、学生にはもともと自分に自信をもって、自分のいい面をこちらにいっぱい見せてほしいですね。

**モチベーションの高い学生、
そうでない学生はフオー**

―学生の学業姿勢についての指摘があり

ましたが、学生について感じることは？
村井 個性的なさまざまなタイプの学生がいますね。たとえば、朝までバイトをして、そのままゼミに出て、本人は勉強しようという気持ちはあるのだけれうが、つい眠ってしまうという（笑）。また、昔の大学生には、18、19歳、20歳であるから一人前、そうした気負いのようなものがあつたように思いますが、いまではそういった学生は少なくなつてきているのかもしれないと感じています。学生ともっと触れ合うと、モチベーションの高い学生もいるんだなあと感じるのでしようけどね。



たり、就職を考えたり、ということでも真剣にやらなくてはいけないという意識が高いのではないかと思います。

高 私の授業に短大の学生がきているのですが、たいへんはじめですね。ところで、当大学のゼミは、だいたい15から20人の少人数体制で、教員は担任のような存在になります。学生の出席状況や学業の姿勢が把握できますから、出席率が良くないようであれば確実なフオーがでる。しかも、1年次からのゼミというのは、よその大学にはない、星稜ならではのサポート体制ではないでしょうか。

**学生と対等に向き合うこと、
自らの経験を還元すること**

―それでは、先生方が「夢」を語るとすれば。



堂下 恵 講師 どうもと・めぐみ／京都府出身。慶應義塾大学経済学部経済学科卒、ロンドン大学で観光・環境・開発学修士号取得、東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構助手などを務める。専門は文化人類学、観光人類学。

高 私が担当する教育心理学の授業を取っている学生は40名ほどいます。この科目は教員免許を取るために必要なのですが、実を言えば当初は10名前後、そのなかで教員採用試験を受けようという学生は数人かなと想像していました。ところが意外にも、受講生40名のうち、教員採用試験を受けたという学生が十数人いて驚きました。これはやりがいがあるなど。私は中学、高校に勤めていたころ、将来の日本を背負う子どもたちを育てたいと思っていました。ですから、教員をめざそうという学生がひとりでもいる以上、私がこれまでに取り組んできた教育や研究活動の経験を、あらん限りの力で学生に還元したい。そうした学生が教員になって、日本の将来を担うべき子どもを教育する。これが私の夢です。



田島 良輝 講師 たじま・よしなる／長崎県出身。早稲田大学人間科学部スポーツ科学科卒、同大学院人間科学研究科で健康科学専攻を修了、同じく生命科学の社会科学・環境科学研究領域博士課程単位取得。早稲田大学スポーツ科学部助手などを経る。専門はスポーツマネジメント、スポーツ社会学。

村井 私は、大学の先生らしくない大学の先生になりたいと思っています。

私は小学校の教員、そして教頭時代も自分から子どもに挨拶をしてきましたが、子どもも挨拶を返し、そのうち自分から挨拶ができるようになります。

大学に来て同じように、私から学生に挨拶をすると、学生も挨拶してくれる。そういう先生と学生というのは、私の学生時代にはなかったですね。挨拶を交し合うなかで、私は小学生でもひとりの人格として扱い、上から下へではなく、「おはようございます」と

対等であることを大切にしてきました。これが私のオンリーワンではないかと思っていますから、これをずっともち続けたい。それが夢です。

田島 学生たちに充実した2年間を過ごさせてあげたい、そのことに全力を



傾けたいと思います。Jリーグは93年の5月15日に初めて開幕したのですが、「スポーツを通じて幸せな社会に」という標語を掲げて社会的な取り組みをやっています。私も、スポーツマネジメントコースを巣立った学生とともに、スポーツを通じて幸せな社会をつくるいろいろな取り組みを将来できたらな、と思っています。

堂下 先生方3人が教育者として語られた後で、私は少しはずれた答えになりますが、私個人の夢は一流の研究者になることです。そうしたなかで、星稜大学や学生に何を還すことができるのか、私自身がやるべき

ことがたくさんありますので、まだ見えていません。ただ、私が目標を持って進む姿勢を学生が見て、感じるものがあれば、と思います。もちろん自分の夢は夢として、現実には教育者として成長していかなければと強く感じている毎日です。

授業のプロでありたい。 星稜の先見性に応えたい

最後に、星稜大学・短大の教員1年生としてひと言お願いします。

田島 短大の2年間は短いので、学生にはそのことを自覚して充実した時間を送ってほしいですし、私も学生とともにいろいろなことに取り組みたい。一年目の抱負です。

堂下 先ほど多少話ししましたが、これまでやってきたことは限られていて、金沢星稜大学に来て、新しいことが豊富にあるはずだと思っています。自分の固定観念やキャパシティにとらわれないで、学生や大学のさまざまなことに柔軟に対応していきたいと思っています。

村井 長く教育畑にいましたので、大学では教育学を専門にやっていきますが、まずは授業のプロになりたい。大学の教員1年目で、授業の一つひとつが新しいことばかりなんです。ですから、1コマ授業をし、反省してつぎの授業を考える、教育学でいうところの授業改善、授業の1コマ1コマを真剣に勝負する、これを一生懸命やっ

ていきたいと思っています。この一年、30コマをやれば、来年さらに改善を加えて、よりよい授業ができる。一年目だからと自分を許すのではなく、授業の一つひとつを大切にしていけることが、先ほど申しました誠実な授業につながる、そのように考えています。

高 私は中学、高校の現場にいましたので、そこで得てきた自分の持ち味を発揮したいと思います。私も村井先生もそうですが、現場にいた教員を採用されるということに関し、星稜大学の器量の大きさ、先見性を感じます。

いま大学に必要なことは何なのかを、先へ先へと考えているのだなど。私は高校で教育相談活動をやってきましたが、大学でも専任カウンセラーを担当させていただけることは光栄です。これまでの経験を存分に活かせれば、と思います。そして、学生が卒業するとき、また卒業した後も、星稜大学でよかったと思えるように、研究者としても教育者としても努力したいと思っています。

高先生、村井先生、堂下先生、田島先生、ありがとうございます。新任間もない先生方には、学内だけでなく学外の目を通し、率直な意見や感想を聞かせていただきました。今後、それぞれのバックグラウンドを礎に、存分にご活躍いただけたことと思います。



アコレ 星稜

★「基礎ゼミナールin輪島2006」・ 「専門ゼミナールin山中温泉2006」

■基礎ゼミナールin輪島
キャンパス2006
4月6日(木)・7日(金)、
今年で3回目を数える新入生
の輪島研修が行われました。
学生相互・教職員とのコミュ
ニケーションを図り、大学生
としての自覚と今後の大学生
活の目標を考えることを目的
に行われています。

履修方法などの説明の後、担
当教員や同行した先輩学生の
アドバイスを受けながら時間
割作成等を行いました。



■専門ゼミナールin山中
キャンパス2006
4月2日(日)・3日(月)、
今年初めて、3年次ゼミの学
外研修が山中温泉で行われま
した。卒業ゼミレポートの作
成に向けて、より専門的な研
究課題、研究プロセスなどに
ついて議論を重ね、専門ゼミ
の充実と活性化を目的に行わ
れるものです。

また、山中漆器の人間国宝
川北良造さんや「すゞや今日
楼」の女将須谷正代さんの講
演会のほか、「胡蝶」の料理長



※参加者に「わじまねえ」・
『やまなか湯路』というネー
ミングが楽しい大学発行
の買い物券が配布され、
商店街や朝市で地元の人
々と会話を楽しみながら、
特産品などのおみやげを
買い求めました。

三谷修司さんによる地元料理
の賞味や芸妓さんによる三味
線など、加賀市や温泉協同組
合など地域の協力と連携で多
彩な研修内容となりました。

石川の能登と加賀を代表す
る文化の薫り高い地域色豊か
な二つの町で行われた学外研
修。相互交流に加え、温泉文
化や伝統工芸、旅館経営など
地域社会を支える産業や文化
に触れながら、生きた経済も
体験できる研修です。

★ 多彩な講師陣から学ぶ、 「グローバル経国済民」

「グローバル経国済民」は、客員教授や第一線で活躍されて
いる多彩な方々を講師に、現在の経済情勢の把握や幅広い知
識の修得ができる全15回の授業で、一般の方も聴講できます。

今後の講義日程

時間：14:30～16:00 (8日(土)は10:30～12:00)

期 日	講義担当	区 分	本務及び役職
7/4(火)	三谷 充	客員教授	三谷産業(株) 代表取締役社長
7/8(土)	馳 浩	特別講師	衆議院議員 文部科学副大臣
7/11(火)	渡邊洋一郎	客員教授	㈱金沢全日空ホテル 総支配人
7/18(火)	小島 久枝	特別講師	日航ホテル金沢 宿泊部コンシェルジュ課 課長
7/25(火)	半戸 康彦	客員教授	沖縄サンマリーナホテル(株) 総支配人



山下智茂 特任教授
稲置学園理事・星稜高校野球部総監督



大友佐俊 客員教授
(株)大友楼社長



水城武彦 特別講師
証券取引等監視委員会委員
元NHK解説委員



高橋昌子 特別講師
石川県金融広報アドバイザー

★ 保護者対象の就職ガイダンス 開催される

■新入生の保護者のための就職ガイダンス

4月4日(火)・9日(日)、新入生の保護者に対して、大学の就職状況や教職、CDPコース、資格講座等についての報告をしました。1年次から行われる卒業後を見据えたプログラムについての理解を深めていただくよい機会となりました。

参加した約200人の保護者からは、「私たち社会人

こそ学べる部分が多かった」、「就職率の実態と現状がよくわかった」、「厳しい就職活動だが、特色ある大学であると知り、子どもを安心して任せられる」などのコメントが寄せられました。

■新4年生の保護者のための就職ガイダンス

4月23日(日)、「新4年生の保護者のための就職ガイダンス」が開催されました。保



護者の個別面談も実施され、就職活動状況やガイダンスへの出席状況報告のほか、就職・卒業についての相談も受け付け、アドバイスを行いました。

★ 「出欠管理システム」導入

今年度4月から、全教室に学生の出席を確認する「出欠管理システム」が取り付けられました。学生証をかざすだけで出席が登録されるものです(金沢市内を走るバスに取り付けられている「icca」のようなもの)。

授業開始のチャイムから10分以内に入室すれば「出席」、その後10分(開始後20分)以内なら「遅刻」、そのあと(開始20分を超えたもの)は「出席としない」となります。

授業の出席回数が足りないと、期末試験を受けることができないため、授業の出欠を確かなものにするのが設置の目的です。同時に、今までの授業開始時に名前を呼び上げて出席を取っていた時間を節約し、その時間を授業に充てることができるという利点もあります。

また、出欠状況が常時把握できることから、欠席が連続している学生には、本人への連絡に加え、保護者にも連絡

し相談することもできます。学生が無事卒業できるよう援助と指導を行うためにも活用できるシステムです。

学力を向上させ、将来の進路への選択幅を広げるためにも授業にはしっかり出席することが大切です。



★ 中国・大連で日本語の講義

北東アジア交流の推進に取り組む大学の藤井教授、大数教授をはじめとする北東アジア共同研究プロジェクトのメンバーらが6月1日(木)から5日(月)、中国・大連市を訪れ、日本文化や歴史を学ぶ学生に日本語で講義を行いました。

大連市内の街路樹で咲き誇るアカシアにちなみ「アカシア交流大学」と名づけられ、学生数約1万5000人の大連民族学院を会場に開催されまし

た。講義はリレー形式で行われ、テーマは大連の経済事情や日系企業の人材養成、国際合併企業と技術拡散、環境力などで、質疑応答も日本語で行われました。

北東アジア共同研究プロジェクトは文科省の「学術研究高度化推進事業」オープン・リサーチ・センター整備事業として採択されており、北東アジアの経済、文化、観光など学術情報の集積、発信をしています。今後の予定と

して、7月23日(日)金沢、7月24日(月)富山、8月5日(土)飛騨で、大連交流フォーラムや夏季公開セミナーを開催します。



講義する
藤井一二教授

★ HUNGARY CLUB 石川県ハンガリー友好協会の パーティーに出席

大学のハンガリークラブの6名が5月26日(金)、厚生年金会館で石川県ハンガリー協会が主催するパーティーに出席しました。

会長の三谷充氏(本学客員教授)、ハンガリー前大使シュディ氏の参加のもと、

早瀬学長とECNのブコクCCTO代表八幡磨未子さん(3年)が乾杯の音頭をとり、メンバーは学内活動やハンガリー料理のレシピなどの報告をするなど、多くの方々と楽しく交流しました。ハンガリーと本学の友好の架け橋となるこれからのハンガリークラブの活動に注目です。



★短 「人間・キャリア教育」実践 Seminar Community 開講 ーセミナー「コミュニティ」ー

短大では、これまでの「教養教育」、「専門教育」に加え、今年度より「人間・キャリア教育」がはじまりました。

「人間・キャリア教育」の取り組みの一つが、Seminar Communityです。

4月・5月は浅の川園遊会のボランティアと、七尾市南大舌地区の地域おこしに挑戦しました。

実社会でのさまざまな体験活動とおして、人間性を養い、社会から求められる人材の育成を目的としています。

地域おこしに挑戦

5月16日(火)、学生たちはJA能登わかば、南大舌地区町会連合会、NPOスローフード金沢のサポートを受け、実際に田植えやジャガイモの芽かきなどの作業を行いました。赤大根の「能登むす

め」やコシヒカリ、ジャガイモの栽培を体験します。また、自分たちが手がけた農産物のほか漁業資源と合わせた地元特産品の開発と販路開拓、地元の歴史文化を英語で紹介したパンフレットの作



成などにも取り組みます。

スポーツマネジメントコースの18名は、七尾市B&G海洋センターにてシーカヤックを体験し、当該地域でのスポーツファーム開設に向け、市場調査とプロモーションを実施しました。今後は、ヨット体験、スキューバダイビング体験、小学生対象のスポーツ体験イベントの実施等を経て、マリンスポーツレジャーの発掘と情報発信などに取り組んでいきます。

学生たちが地域おこしに積極的に関わることで、主体性やコミュニケーション能力、職業観を身に付けながら人間力を磨くことができ、地域貢献の成功にもつながることが期待されます。

浅の川園遊会

4月8日(土)・9日(日)の2日にわたり開催された、第20回浅の川園遊会に、短大の学生がボランティアとして参加しました。

ボランティア活動や社会の実体験を通じて、地域の方々と協働し、コミュニケーションを図ることを目的としています。

1年生全員と2年生7名が受付や模擬店での販売などのお手伝いをしました。



☆初めての二部新入生研修会

4月22日(土)、大学二部の新入生研修会が実施されました。

この研修会は、“新入生に二部の特性を理解してもらい、先生方、上級生との親睦を深める”ことを目的とし、今回初めて実施されました。中部経済産業局の観光産業事業に、企業戦術として積極的に取り組んでいる企業の、施設見学、工場見学を中心に日帰りの研修が行われました。

参加したのは二部の新入生(新一年生、編入生、転部生)と上級生の学生たち、ゼミ担当教員です。



井波彫刻会館で説明を受ける学生



成正酒造



日の出屋製菓株式会社



株式会社サンジェニックス

百万石踊り流しで
“ハッスル賞”



せて、楽しく踊ったことが、連続受賞となり、うれしい結果となりました。

当初は「いいね金沢」の曲にだけ「星稜」のかけ声を入れる予定でしたが、学生たちのアドリブで他の2曲にも「星稜」の力強い声が響きました。沿

道で見ている方々も、つられて一緒に踊る光景もみられ、踊り流しを大いに盛り上げました。

保護者、教職員で構成された「星稜」は見事「ハッスル賞」を受賞しました。

前回（平成16年）のホーヤネ賞大賞には及びませんでした。が、みんなが気持ちを合わせた。

踊り流しには、総勢約110名が参加し、そのほか多くの方々の応援、ご協力がありました。星稜の「一体感」をアピールできたよい機会でもありました。

★高
復歸願い、三千羽鶴

星稜高校生徒会は、5月の試合中に負傷したニューヨーク・ヤンキースの松井秀喜選手（高校OB）の復活を願って全校生徒に千羽鶴作りを呼び掛け、折り紙を配布したところ予想を上回る3千羽が集まりました。

生徒会役員が仕上げの作業を行い、ビデオレターとともにニューヨークの松井選手のもとに届けられました。



★**高** 豊かな表現力を目指して

「第17回星稜高校吹奏楽部定期演奏会」

4月23日(日)に高校吹奏楽部は、第17回目となる「定期演奏会」を、金沢市文化ホールで開催しました。テーマを「expression(＝表現)」とし、演奏をとおして豊かな

当日は、900人を収容できるホールがほぼ満席となり、部員達は日頃の練習の成果を存分に発揮する機会になりました。オーブニング



は、華やかで躍動感に溢れる楽曲に始まり、第2部では一人の少女の恋をテーマに部員達による自作自演のステージで会場を沸かせました。第3部では映画やテレビでお馴染みの楽曲が演奏されました。

高中

春の遠足
親睦を深め見聞を広げる

春の遠足が、4月26日(水)に実施されました。

高校では、1年生は臨海公園見学と散策のため能登島へ、2年生は白川郷見学のため岐阜県白川村へ、3年生は越前大野城見学と街中散策のため福井県大野市へ出かけました。各学年とも、現地ならではの素晴らしい自然や文化

中学校は、全校生徒で津幡町の森林公園三国山キャンプ場へ出かけ、自然に親しみながら親睦を深めました。大人数での集団行動となりましたが、各自の規律と責任ある行動により、とてもスムーズに進行することができました。

に触れ、有意義な経験となりました。



★短
新入生歓迎祭

4月10日(月)、新入生歓迎祭を開催しました。

千原学長による挨拶、学友会執行部代表の川端英美さんによる歓迎の言葉、教職員紹介、クラブ・サークル紹介、ビンゴゲーム大会といった内容で行われました。

新入生にとっては
2年生との初めての行
事で、最初は少し緊張
気味でしたが、時間が



経つにつれ和気あいあいとした楽しいひとときとなりました。



★男子総合2連覇

第80回北信越学生陸上競技対校選手権大会

5月27日(土)・28日(日)、長野市営陸上競技場において第80回北信越学生陸上競技対校選手権大会が行われ、男子が総合優勝2連覇を果たしました。

男子	100m	優勝	清水 隆平(4年)
	400m	優勝	夏畑 佑己(3年)
	400mハードル	優勝	齊藤 将(4年)
	走高跳	優勝	佐野 隆浩(2年)
	三段跳	優勝	松岡 純平(4年)
	4×400mリレー	優勝(大会新記録)	夏畑 佑己(3年) 池田啓太郎(4年) 齊藤 憲佑(4年) 齊藤 将(4年)
女子	走幅跳	優勝	岡田 有加(短大2年)

日本学生陸上競技対校選手権大会で活躍

6月9日(金)から11日(日)までの3日間、横浜市日産スタジアムにおいて、学生日本一を決める、第75回日本学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。

男子400mハードルでは、昨年東アジア大会銅メダリストの齊藤将選手(4年)が50秒85のタイムで6位入賞を果たしました。

4×400mリレーの予選では、通過条件の2着までに僅か0.58秒及ばず、夢の決勝進出は果たせませんでした。強豪校と互角に戦えたことで、選手たちにとっては大きな自信につながりました。



★硬式野球部 あと一歩… 北陸大学野球春季リーグ戦 2位

4月8日(土)に、開幕した北陸大学野球連盟春季リーグ戦において、福井工業大学に2連敗の後、8連勝というがんばりを見せ、最後まで優勝争いに絡みましたが、あと一歩及ばず惜しくも2位となりました。秋のリーグ戦での活躍が期待されます。

〈リーグ戦成績〉

対 福井工業大学	4/9(日) 2-5 ●	10(月) 2-4 ●
対 金沢学院大学	4/15(土) 5-0 ○	16(日) 5-4 ○
対 富山国際大学	4/29(土) 4-1 ○	30(日) 3-1 ○
対 高岡法科大学	5/6(土) 8-5 ○	8(月) 2-0 ○
対 北陸大学	5/13(土) 5-2 ○	14(日) 8-7 ○



★サッカー部 第30回総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント 北信越大会 準優勝!!

6月3日(土)・4日(日) 長野県松本平広域公園球技場において、準決勝、決勝が行われました。準決勝では、前年秋の北信越大学リーグチャンピオンの福井工業大学に2対1で勝利。迎えた新潟経営大学との決勝は、逆転に成功するも同点に追いつかれ、延長戦の末惜しくも敗れました。



負けはしたものの、サッカー部が全員一丸となったすばらしいゲームでした。着実に力をつけたサッカー部の今後の活躍に期待がふくらみます。

★軟式野球部

第13回北陸大学軟式野球春季リーグ戦 3位

順位決定リーグ 上位リーグ戦

対北陸大学	5/27(土) ○6-1
対仁愛大学	6/ 3(土) ●2-5
対福井工業大学	6/10(土) ●0-4

全国大会出場のかかった福井工業大学戦。残念ながら敗れましたが、同好会から部となった初めての公式戦で3位と健闘しました。



★ 石川県高等学校総合体育大会

- 陸上部 男子、女子ともに総合優勝
 - サッカー部 優勝
 - トランポリン部 女子総合優勝
Aクラス女子団体・Aクラス女子 優勝
 - テニス部女子 団体 優勝
ダブルス・シングルス 優勝
 - テニス部男子 団体 準優勝
 - 剣道部 男子、女子ともに団体 準優勝
 - バレーボール部女子 準優勝
- 平成18年度全日本ジュニアテニス選手権石川県大会(5月7日)
16歳以下女子シングルス 優勝
18歳以下女子ダブルス・シングルス 優勝
- 石川県バレーボール祭高校の部兼第55回中部日本6人制兼総合男女選手権大会(高校の部)(4月29日)
バレーボール部女子 準優勝



★ 野球部

全日本少年軟式野球石川県大会優勝

6月4日(日)、星稜中クラブが決勝で緑が丘中クラブを下し、優勝しました。7月2日(日)・3日(月)に富山市で北信越大会が開催されます。



★ サッカー部

金沢市春季大会優勝
5月21日(日)、中学サッカー部が決勝で長田中学を4対0で下し、優勝しました。



★ 高将棋

第42回全国高校将棋選手権大会石川県大会(6月7日)
男子団体戦 優勝

★ 囲碁

第30回全国高校囲碁選手権大会石川県大会(5月28日)
男子団体・個人戦 優勝



★ 短高 中 幼

AED(自動体外式除細動器)が設置される

体育の授業やクラブ活動などの運動中は、心臓突然死の割合が高いことや、危機管理体制のより一層の強化のため、大学から幼稚園の各学校にAEDが1台ずつ設置されました。教職員全員が使用できるように講習会を実施していきます。



★ 第39回北陸三県私立短期大学体育大会

6月10日(土)・11(日)、富山市体育文化センター、富山県総合体育センターなどにおいて、第39回北陸三県私立短期大学体育大会が開催され、本学から7種目に50名が参加しました。

- ソフトテニス
 - ・団体戦 準優勝
 - ・個人戦 3位
ダブルス 笹田 理恵(2年) 界 朋子(2年)
- テニス
 - ・個人戦 3位
シングルス 宮田 由貴(2年)



★ 剣道部

第48回北信越学生剣道選手権大会



男子個人戦
優勝(昭和46年13回大会以来2度目) 桶田 順平(3年)

★ ゴルフ部

第8回北陸中日新聞北陸学生ゴルフ選手権冬季大会
個人戦 優勝 中野 史崇(3年)

★ 星稜ジュニアサッカー



第30回全日本少年サッカー大会石川県大会優勝
6月4日(日)、1部の準決勝、決勝が行われ、星稜ジュニアが三和キッカーズに快勝し、全国大会出場を決めました。
星稜ジュニアは高校サッカー部の河崎監督が底辺拡大のため立ち上げ、今年は創立10周年にあたります。

顔がとてもうれしそうです。

時折吹く風に、桜の花びらがシャワーのようにふってきて、その度に「わあー!」と大きな歓声。幸せな楽しい経験ができました。

★保育参観★

4月28日(金)、保育参観がありました。年中組さんは、5月5日のこどもの日にちなんだ制作を楽しみました。折り紙で作ったこいのぼりをかぶとに飾って完成!!

出来上がった作品を「見て～!」とうれしそうにお母さんに見せているかわいい年中組さんでした。



★春の日のつどい★

5月19日(金)、“春の日のつどい”がありました。先生たちの劇“ぐりとぐらのえんそく”を見たり、こどもの日にちなんだ〇×クイズや片足バランス競争をして楽しみました。

片足バランス競争はクラスの代表選手。子どもたちの応援もとっても盛り上がり、楽しいつどいとなりました。



★お弁当★

年少さんにとっては、初めてのお弁当日。

朝から食べたくて、食べたくてしかたのない子どもたちです。何度もかばんの中のをぞいては、入っているのを確かめる子、先生に見せたくてたまらない子…。

園では、パン給食や米飯給食の日もありますが、やっぱりお母さんの手作り弁当が一番。どんなごちそうもかきません。

食育がとりあげられる昨今ですが、お弁当にこめた母の愛は、きっと子どもたちの心も体も大きく育ててくれることでしょう。



★園庭遊び★

泉野幼稚園では、晴れた日には園庭遊びがかかせません。子どもたちの大好きな砂場では、クラスや年齢を超えた共同作業が生まれます。

「入れて」「いいよ」「ほく水くんでくるよ」「穴はこれくらいいいかな」

子どもたちのこんな言葉のやりとりが、どんどん遊びを広げていくのですね。



★入園式★

4月10日(月)、平成18年度入園式。今年も小さくてかわいい年少さんが元気いっぱいに入園してきました。

先輩のお兄さんやお姉さんに「待ってたよー!」と歓迎されてニコニコ。今年度もにぎやかにスタートしました。

幼 星稜幼稚園



★お花見遠足★

4月18日(火)、年長組さんが北部公園までお花見散歩に出かけました。満開の桜の下を歩く子供たちの笑



幼 星稜泉野幼稚園

★春のはじまり★

4月、新しいお友達63名を迎え平成18年度がスタートしました。園庭の八重桜やはなみずきの花もみんなの笑顔を待っていたかのように咲き乱れ、本当に美しい泉野幼稚園の春のはじまりです。

ここでたくさん遊び、けんかをし、また仲直りを繰り返し、子どもたちはやさしさとたくましさを心に刻んでいきます。

「お花さん、見てね」の声が聞こえてきそうな気がします。



大学に新しい学部をつくります(設置認可申請中)

金沢星稜大学は、平成19年4月より3学部5学科になります。

経済学部一部 経済学科、現代マネジメント学科

経済学部二部 経済学科

人間科学部 スポーツ科学科、こども科学科(設置認可申請中)

[人間科学部]

人間の精神的・身体的能力の形成・発達・開発に関する諸科学を統合し、スポーツ科学とこども科学の視点から教育・研究する学部です。

ともに集い、汗をかき、躍動し、連帯する生命力溢れる人間、地域の伝統と文化の中で感性と知性を育もうとする人間の育成をめざします。

スポーツ科学科

スポーツを愛し、地域社会に貢献できる『スポーツスペシャリスト』を育成します。

高齢化・長寿社会を迎え、余暇拡大の中で健康とスポーツへ関心が増大しています。スポーツの社会的役割、マネージメント、アスリート養成、生理学的な視点から教育・研究し、スポーツ教育やスポーツマネージメント、スポーツアスリートの分野で活躍できる『スポーツスペシャリスト』を育成します。

[取得できる資格](予定)

- ・中学校教諭一種免許状(保健体育)
- ・高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- ・日本体育協会スポーツ指導員資格

こども科学科

既存の学問領域を越えた学際領域を研究・教育・実践し『子育てスペシャリスト』を育成します。

今や幼稚園・小学校にも顕在化してきた学級崩壊、こどもをめぐる犯罪の多発、そして子育てへの不安や悩み。核家族化や少子化が進んだ現在、学校や家庭、地域社会など、こどもを取り巻く環境は大きく変化しています。こうした問題を大人の視点ではなく、こどもの視点から「こども学」としてトータル的に学び、幅広い知識と実践力を備えた『子育てスペシャリスト』を育成します。

[取得できる資格](予定)

- ・幼稚園教諭一種免許状
- ・小学校教諭一種免許状

理事長室から

中国 大連民族学院 表敬訪問

6月27日(火)に、中国 大連民族学院の蔡明德(さい めいとく)学長、王秀文(おう しゅうぶん)外国言語文化学院長、杜崇旭(としゅうきょく)科学技術処副処長が理事長を表敬訪問しました。蔡学長と王院長は、6月2

日(金)から3日(土)に開催された大連「アカシア交流大学」において、本学ORCプロジェクトと公開講座を実施した際の主催者代表を務められており、王院長の日本語教室と本学ORCとの間で共同研究を推進中という縁での来訪となっ



たものです。
この共同研究をステップとし、本学と大連民族学院との今後の交流をより深めていくことが期待されています。



学園歓迎会・永年勤続者表彰式

4月1日(土)、9時より辞令交付、18時より学園の全教職員が集う学園歓迎会が金沢スカイホテルで行われました。理事長の挨拶の後、新任者を代表して高賢一助教授(大学)がこれからの抱負を述べられました。

また、併せて永年勤続者の表彰も行われました。

永年勤続表彰者(敬称略)

20年勤続	大学	川村 義治
	短期大学	金井 清美
	中学校	今村 和美
	法人本部	高山 典子
30年勤続	大学	池端 紀子
	短期大学	中 智江子
	高等学校	羽賀 多間
		能登 博恭
	幼稚園	高井はるみ



金沢星稜大学キャンパスで、学生気分に戻って学びませんか

平成18年5月「星稜ワンカル」が誕生しました。

「星稜ワンカル」とは、「星稜ワンコインカルチャー」。ワンコインでだれもが受講可能なカルチャー講座の愛称です。より楽しく、よりためになる情報発信の講座としてスタートしました。

金沢外環状道路(山側環状)の開通で、さらにアクセス性が向上し、より受講しやすくなりました。

[星稜ワンカル講座日程]

第3回 金沢検定を受けてみよう!	9月16日(出)	13:00~15:00
講師: 金沢経済同友会 副代表幹事 株式会社福光屋社長 福光松太郎氏		
第4回 教育職員のためのファイリングシステム ー基本と実践ー	10月7日(出)	13:00~15:00
講師: 財団法人日本経営協会・経営研究センター 主任研究員 石島 正勝氏		
第5回 株って何?	11月11日(出)	13:00~15:00
講師: 金沢星稜大学大学院研究科長 元 大和総研調査部 経済調査部長 原 耕平氏		

※講師・教室は都合により変更になる場合があります。

行事スケジュール(7~9月)

金沢星稜大学	
7月	4日(火)
	8日(土)
	11日(火) グローバル経済経済
	18日(火)
	25日(火)
8月	1日(火)~11日(金) 一斉試験期間
	11日(金) 前期授業終了
9月	4日(月)~6日(水) 追再試験
	14日(木) 前期卒業判定
	21日(木) 前期学位記授与式・後期入学式
	22日(金) 後期ガイダンス(1,2,3年次)
	25日(月) 後期授業開始

星稜女子短期大学	
7月	22日(土) キャンパス見学会
	31日(月) 前期授業終了
8月	4日(金)~10日(木) 前期考査
	11日(金) 夏季休暇開始(~9/27)
	22日(火) キャンパス見学会
	28日(月)~30日(水) 前期考査追・再試験
9月	7日(木) 集中講義(~9/25)
	10日(日) キャンパス見学会
	22日(金) 前期卒業認定発表
	26日(火) 後期オリエンテーション (1年次午前・2年次午後)
	27日(水) 前期卒業証書授与式・夏期休業終了
	28日(木) 後期授業開始

星稜中学・高等学校	
7月	4日(火)~7日(金) 期末試験
	10日(月) 追試
	14日(金)~15日(土) 体育大会
	15日(土) 中学合唱コンクール
	18日(火) 保護者懇談会(~7/20)
	18日(火) 再試
	20日(木) 終業式
8月	31日(月)~8月1日(火) 学校見学会
	1日(火) 全国総体(近畿中心)、語学研修(~8/16)
	21日(月)~24日(木) 補充授業
	25日(金) 北信越国体(長野)
	28日(月) 始業式
	9月
	4日(月)~5日(火) 星稜祭
9月	14日(木)~17日(日) 新人大会(前期)
	26日(火) 高校運動会

星稜幼稚園	
7月	6日(木) プラネタリウム
	20日(木) 終業式
	21日(金) 夕涼み会
	24日(月)~25日(火) お泊り保育
9月	1日(金) 始業式
	12日(火) オープンハウス
	23日(土) 運動会
	29日(金) いもほり遠足

星稜泉野幼稚園	
7月	6日(木) 七夕の集い
	8日(土) ちびっこ夏祭り
	13日(木) プラネタリウム
	20日(木) 終業式
	24日(月)~25日(火) お泊り保育
9月	1日(金) 始業式
	8日(金) オープンハウス
	17日(日) 運動会
	28日(木) いもほり遠足



あとがき

「星稜サエラ」お届けします。新学期から3ヶ月が経ち、それぞれの新しい生活にも慣れ、少し落ち着いた雰囲気のためうキャンパスです。

スポーツ・文化活動での活躍、さらに来年度の大学新学部の設置申請など、新年度からダイナミックに始動しています。この模様を本誌でご覧いただければ幸いです。

本誌は、年間3~4回の発行予定です。保護者の皆さまや学園に関わる多くの方々に、稲置学園の「いま」と「あした」を知っていただきたいと願っています。

まぶしい陽射しとともに輝きを増したいと念じています。皆様のご支援をお願いいたします。

法人本部秘書課係長 上田 奈津子

学校法人稲置学園・設置各校

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
☎076-253-3924(代表)
<http://www.seiryu-u.ac.jp/>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町西1
☎076-253-5900(代表)
<http://www.seiryu.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp/>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237(代表)
<http://www.seiryu-hs.jp/>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
☎076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
☎076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>

星稜サ・エ・ラ

サ・エ・ラ(cà et là)とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。

編集・発行／学校法人 稲置学園 2006年7月1日発行
石川県金沢市御所町丑10-1 ☎076-253-3908